

年頭のご挨拶



紫波町議会
議長 武田 平八

この度、能登半島地震により犠牲になられた方々に対し、謹んで哀悼の誠を捧げますと共に甚大な被害を受けた皆さんに衷心よりお見舞いを申し上げます。

令和6年の新年が明けまして、皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。平素、皆様には、議会に對しまして特段のご理解とご協力を頂いております、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、議員改選の年であり、5人の新たな議員が誕生し、新鮮さも加わり、議会活動も積極的に行われ、順調な船出ができたと思っております。

しかし、少子化や人口減少など地方を取り巻く環境は厳しさを増し、中長期的な視点で山積する課題の解決に向けて、議会の役割と責任を果たしていかなければならないと気を強くしております。未来を担う子供たちに負担や課題を先送りすることは避けなければならず、現状を徹底的に分析すると共に、先々を見据えた視点で紫波町が持続的に発展していく為の議論を展開してまいります。

今年は、「甲辰^{きのえたつ}」であり、干支に相応しく、将来に夢と希望を持てる町づくりに向けて「変革・転機」の年にするべく、議会が「ワンチーム」となって、邁進したいと考えておりますので、引き続き、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、紫波町の限らない発展と町民の皆さんの益々のご健勝をお祈りし、ご挨拶といたします。

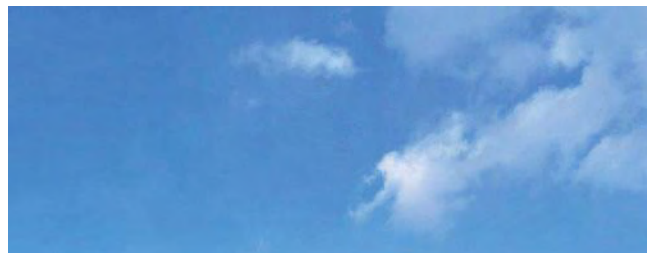


表紙の写真



雲外蒼天（うんがいそうてん）

～困難を乗り越えた先には明るい未来がある～



二十歳のみなさんの抱負を伺うことができ、今後の活躍に期待が膨らみました。

表紙上部の写真は紫波一中野球部OB。

ご家族から「県大会で3位を取った日のことを思い出しました。みんなの未来に良いことがあればいいですね。」と感慨深い言葉がありました。

『雲外蒼天』は町長が二十歳のみなさんに贈った言葉です。偶然、式典前に広がった青空に、今年の干支である『龍』のような雲が写りました。登り龍のごとく、自分の信念にまっすぐに!!

応援しています!



ペンをおいて

明けましておめでとうございます。夜に一人で原稿を書いていると、除雪車のチェーンの音が、さながらサンタクロースのトナカイがつけた鈴の音のように聞こえて、思わず笑みを浮かべてしまいます。

広報広聴委員会の改選からだいぶ議会だよりを作るのも慣れてきました。この「慣れ」といいます。

吉田 和希

発行・編集責任者

議長 武田 平八

広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 博

副委員長 佐々木純子

委員 吉田 和希

村上みさと

佐藤 光夫

橋浦 栄一

及川ひとみ



議会からお願い 議会だよりの取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



植物油インキを使用しています



議会だより No.208 令和6年1月24日発行